

様式第2号 (第3条関係)

行政視察等報告書

令和8年2月4日

米子市議会議長様

(会派の場合)

会派名

代表者氏名

(印)

提出者氏名

(印)

(議員の場合)

議員名 森田悟史



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	森田悟史
期日	令和8年1月28日から 令和8年1月29日まで
〔視察等年月日・場所・内容〕 (1) 年月日 令和8年1月28日(水)～令和8年1月29日(木) (2) 視察場所 ・福岡県北九州市 ・山口県下関市 (3) 視察内容 20代議員の会第2回研修会 【1日目：福岡県北九州市】 研修①：ウーマンワークカフェ北九州 【2日目：山口県下関市】 研修②：火の山地区観光施設再編整備事業 研修③：下関市リノベーションまちづくり	

〔視察等の目的〕

地方都市が抱える共通の課題である「女性の就業支援」「観光地の魅力再定義」「人口減少社会におけるまちづくり」の三点について、先進的な取り組みを行う自治体の事例を調査することを目的とした。具体的には、国・県・市が連携した全国初の女性就業支援施設「ウーマンワークカフェ北九州」、デザインとブランディングを統一して進める「火の山地区観光施設再編整備事業」、そして外部人材や既存資産を徹底活用して社会増を実現している「下関市リノベーションまちづくり」の各現場を訪れた。これらの取り組みにおける運営手法、官民連携のあり方、課題解決のプロセスを詳細に把握し、米子市における男女共同参画、観光振興、および地域再生事業の参考とすることを目指す。

〔視察等要旨〕

(1) 女性の就業支援：ウーマンワークカフェ北九州

北九州市が運営する「ウーマンワークカフェ北九州」は、国、福岡県、北九州市が一体となって女性の就業をワンストップでサポートする全国初の施設である。オープンから9年間で延べ10万人近い利用者を記録しており、市の基本計画に掲げる「稼げるまち」の実現やDE&I（多様性、公平性、包括性）の推進、女性がキャリアを形成しやすい環境整備の中核を担っている。市内の女性（25～44歳）の就業率は政令指定都市の中で中位に位置しているが、男女の意識差や就業継続における「L字・M字カーブ」の課題を解消するため、多様なアプローチを行っている。運営上の特徴としては、利用者の約8割が20～40代の子育て世代であり、就業相談だけでなく、動画編集や写真撮影といった実践的なスキルアップセミナーを通じて、専業主婦が施設に足を運ぶ動機付けを行っている点が挙げられる。また、近年課題となっている「年収の壁」についても、単に扶養内を希望する背景を深掘りし、世帯年収の観点からキャリアを考える機会を提供している。さらに、女性限定のコミュニティ形成や、今後は男性も交えた家庭・子育て相談の重要性を見据えるなど、社会情勢の変化に合わせた柔軟な運営がなされている。

(2) 観光ブランディング：火の山地区観光施設再編整備事業

下関市の「火の山地区」では、山全体を都市公園として捉え、観光施設を再編整備する大規模なプロジェクトが進行中である。山頂にはインスタ映えを意識した展望デッキやアスレチックを配し、山麓には多種多様なニーズに応えるキャンプゾーンを整備するなど、エリア全体に魅力を持たせている。本事業において特筆すべきは、設計プロセスにおける「ブランディング」の徹底である。当初、展望デッキ、アスレチック、園路の設計を別々の事業者が担当したことで意匠にばらつきが生じる懸念があった。これを受け、市は設計チームに対してブランドコンセプトとガイドラインの策定を依頼した。「Hinoyama Red」と名付けられたキーカラーの設定や、現地の風景・体験とリンクしたロゴデザインの構築など、あらゆる施設に共通の意匠を適用することで、火の山全体のブランド価値を統一感を持って高めている。

(3) 地域再生：下関市リノベーションまちづくり

下関市の豊北町エリアでは、2023年からスタートした「リノベーションまちづくり」によって、2年連続の人口社会増を達成している。この取り組みは、未利用の不動産や空き家、市の保有する旧教員住宅や消防官舎などの公共財産に新たな価値を見出し、起業や移住の拠点として再生させるものである。特筆すべき点は、外部人材の活用と官民連携の仕組みである。地域活性化起業人制度を活用して外部の専門人材を受け入れ、包括連携協定を結ぶ企業グループから人材を外向させることで、「豊北地域再生プロジェクト推進室」を発足させた。この体制により、ワーケーションツアーの開催やテレワーク人材育成プログラムの実施、リノベーターズサミットの開催など、スピーディーかつ多様な事業展開が可能となっている。地元のキーパーソン、熱意ある自治体職員、そして共創を促進する外部人材が三位一体となり、地域の意識を変えながら持続可能なまちづくりの設計図を描いている。

〔視察等（説明）要旨に対する考え方及び本市の事務事業に参考となる点〕

（１）女性活躍と世帯単位の支援体制の構築

北九州市の事例から、女性の就業支援は単なる「仕事探し」のサポートに留まらず、キャリア形成に向けた「動機付け」と「コミュニティ形成」が重要であることを再認識した。米子市においても、スキルアップセミナーの内容を現代のニーズ（IT・クリエイティブ等）に合わせ、施設への来訪ハードルを下げる工夫が求められる。また、「年収の壁」への対応のように、女性本人だけでなく男性も含めた世帯全体でのライフプラン相談を促す視点は、本市の男女共同参画を推進する上で極めて有効なアプローチであると考ええる。

（２）観光地整備におけるブランドガイドラインの重要性

下関市の火の山地区の事例は、公共事業におけるデザイン統一の重要性を浮き彫りにした。米子市でも公園や観光拠点の整備・改修が行われる際、各パーツの設計がバラバラになるのではなく、エリア全体としての「色」「ロゴ」「コンセプト」を言語化・視覚化したガイドラインを策定すべきである。これにより、単発の整備に終わらない、長期的に愛される観光地ブランドの構築が可能になる。コンペ方式を採用する際も、単なるデザイン性だけでなく、地域の歴史や眺望をどう定義し、ブランドとして統一できるかという視点を審査基準に盛り込むべきである。

（３）公共資産の積極的活用と外部人材による共創

下関市豊北町における社会増の成果は、本市の空き家対策や移住定住施策において大きな参考となる。特に、壊す予算がないまま放置されている旧教員住宅等の未利用財産を、民間のノウハウ（地域活性化起業者等）を活用して移住定住住宅へ転換する手法は、行政の負担を抑えつつ地域を活性化させる現実的な解である。本市においても、自治体職員だけで抱え込まず、外部の熱意ある人材を「地域活性化起業者」や「地域おこし協力隊」として適材適所に配置し、地元のキーパーソンと繋ぐ「コーディネート機能」を強化することが、持続可能なまちづくりを実現するための鍵となる。既存の枠組みにとらわれず、今ある「空き」を「価値」に変える柔軟な発想と、それを実行に移すための官民連携の組織体制を整備することが不可欠である。

経 費	旅 費 @	46,200円
		合 計 46,200 円

(注) 氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

行政視察行程（森田議員：研修）

月 日	行 程	宿泊先等
1/28 (水)	10:36 12:47 13:11 14:42 14:50 米子駅 ===== 岡山駅 ===== 小倉駅 ===== 研修場所 JR 特急やくも 12号 JR 新幹線さくら555号 徒歩7分	(昼食) 岡山駅
	研修会 【問合せ：20代若手議員の会事務局】 【場 所】北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル2階 【研修1】15:30~17:00 「ウーマンワークカフェ北九州事業」について 【担当課】北九州市産業経済局 雇用・産業人材対策課	
	研修場所 ===== ホテル 徒歩15分	【ホテル】 ホテルクラウンヒルズ小倉 ☎050-1807-3607
1/29 (木)	8:25 8:41 9:00 9:17 ホテル ===== 小倉駅 ===== 下関駅 ===== 下関市役所 ===== 火の山公園（現地見学） 徒歩11分 JR 山陽本線下関行 レンタカー移動 レンタカー移動	
	研修会 【問合せ：20代若手議員の会事務局】 【場 所】下関市役所（下関市南部町1-1） 【研修2】10:00~12:00 「火の山地区観光施設再編整備事業」について 【現地見学】火の山公園（下関市みもすそ川町） 【担当】下関市役所都市整備部公園緑地課	
	14:30 火の山公園 ===== 下関市役所豊北総合支所 レンタカー移動	
	研修会 【問合せ：20代若手議員の会事務局】 【場 所】下関市役所豊北総合支所（下関市豊北町大字滝部3140-1） 【研修3】14:30~16:30 「地域活性化起業人制度/地域共創プロジェクト事業」について ※帰りの電車に間に合わせるために、途中で早退した 【担当】下関市役所総合政策部共創イノベーション課	
	16:09 18:02 18:10 19:32 20:13 22:24 下関市役所豊北総合支所 ===== 滝部駅 ===== 新下関駅 ===== 岡山駅 ===== 米子駅 レンタカー移動 JR 山陰本線 JR 新幹線さくら568号 JR 特急やくも27号	

旅費計算表

令和8年1月28日 ~ 令和8年1月29日

福岡県北九州市・山口県下関市
森田議員 研修

月 日	区間	鉄道路線名	区間キロ数	目的地までのキロ数	運賃	グリーン	急行料金		宿泊手当 (朝食付の額)	宿泊費	
							特別	新幹線		福岡県	
1/28	米子～岡山	JR	159.1		8,360			2,400	25,000円	5,300	
(水)	岡山～小倉	JR	374.8				2,530				
1/29	小倉～下関	JR	11.8								
(木)	(研修)										
	滝部～新下関	JR	42.4		770						
	新下関～岡山	JR	355.8		8,460						
	岡山～米子	JR	159.1				2,530				
計	議員旅費			39,350	17,590		5,060	9,000	2,400	5,300	0
	随行旅費			0							

出席議員 森田議員

議員旅費	39,350 × 1名 =	39,350 円
研修参加費	5,000	5,000 円
自宅～米子駅までのガソリン代	5km × 25円 × 2 =	250 円
駐車場代	1,600	1,600 円
計		46,200 円